

11月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
04/11/16 (火)	東京は円が小安い。週末のG20で為替が問題になるとの見方から思惑交錯のなかでシジョン調整進む。欧米は行って来い。対米証券投資が高水準になったことから一時ドルは続伸したが、買い続かず。	・週末G20に谷垣財務相欠席へ ・新日銀審議委員(田谷氏の後任)にCSFB証券の水野氏起用が内定 ・10月の米PPIは1.7%、9月対米証券投資は634億ドル	・谷垣財務相「G20で為替が一つの焦点になる」 ・ソルベススペイン財務相「過度の通貨変動は好ましくない」 ・ユンケル独総務相「米国は強いドルを实践すべき」	105.26 105.18 105.67 105.32	136.30 136.18 136.84 136.47	寄付 安値 高値 終値
04/11/17 (水)	東京の大引けにかけて円が急騰。材料よりも105円のOPを狙った動きが奏功すると104円台へ。欧米で円は続伸。一時103円台を見る局面も。スノーや米報道官の発言がドル売りのキッカケに。	・10月の米CPIは0.6%、同住宅着工件数202.7万件、同鉱工業生産0.7%、同設備稼働率77.7%	・谷垣財務相「為替相場はよく注意しなければならない」 ・スノー米財務長官「為替レートは市場が決める」 ・米財務省報道官「通貨の価値は自由で競争的な市場で決定される」	105.32 103.78 105.50 104.02	136.47 135.25 136.75 135.56	寄付 安値 高値 終値
04/11/18 (木)	東京は揉み合い。当局の介入姿勢を睨みさらなる円買いを手控える向きも少なくなく動意乏しい。欧米は結果ドル高。日経報道が弱材料になるかと思われたが、調整的なドル買戻しの勢い止まらず。	・日銀金融政策決定で金融政策の据え置き決定 ・「金正日の肖像画撤去」報道を受け北朝鮮でクーデターとの噂あり ・10月の米景気先行指数 0.3%、11月FF連銀製造業景況指数20.7	・細田官房長官「円高と言うよりドル安」 ・日経新聞「ロシアがドル連動性を廃止」 ・福井日銀総裁「為替は思惑で振れている部分もある」	104.02 103.64 104.40 104.18	135.56 134.88 135.92 135.01	寄付 安値 高値 終値
04/11/19 (金)	東京は小動き。夜半や週末の重要会議を前に売買手控えムード強い。欧米でドルは再び独歩安。FRB議長の発言がキッカケとなり、ドル売りが加速した。	・ベルリンでG20開催される	・谷垣財務相「必要なときは必要な対応を取る」 ・竹中経財相「長期的にはファンダメンタルズを反映する」 ・グリーンズバインFRB議長「ドル資産の積み上げはリスクになる」	104.18 102.68 104.36 103.07	135.01 134.00 135.20 134.26	寄付 安値 高値 終値
04/11/22 (月)	東京は揉み合いつつもドル小じっかり。週末のフッシュ発言などから再び調整と見られるドル買戻しも。欧米も引き続きドル小高い。ただ新規材料に欠けたうえ、需給的にドル上値も重く上昇は限定的なものに。	・週末にAPEC首脳会議開催される	・フッシュ大統領「強いドルを支持」(20日のAPEC首脳会議で) ・小泉首相「米国は強いドルを支持している。しかし市場がどう反応するかは判らない」	103.07 102.82 103.38 103.12	134.26 134.13 134.75 134.57	寄付 安値 高値 終値
04/11/23 (火)	東京休場で薄商いのなかでソカゴール市場でドル買戻し進む。介入警戒感がその背景か。欧米はユーロがしっかり。ロシア中銀副総裁や独経済相の発言からユーロ買いに安心感。	・東京市場休場 ・10月の米中古住宅販売675万戸	・ウレウエフ露中銀副総裁「ロシアの外貨準備の多くがドル建てで懸念材料、外準構成の見直しも」 ・クレメント独経済相「ユーロの上昇、景気回復の障害にはならない」	103.14 102.84 103.67 103.29	134.60 134.24 135.56 135.20	寄付 安値 高値 終値
04/11/24 (水)	東京はユーロなど欧州通貨高。一部中銀による外準ポートの変更思惑から対円、ドルで欧州通貨がしっかり。欧米は結果ドル安。対ユーロでのドル安については東京同様。対円では武部発言などが材料視された。	・10月の米耐久財受注は 0.4%、同新築住宅販売122.6万戸、11月のシジョン大消費者景況感指数92.8	・与謝野政調会長「介入の効果は極めて一時的、原則として介入すべきでない」 ・武部幹事長「為替政策は今の状態がベター」 ・FEDレートチェックの噂あり	103.29 102.53 103.69 102.79	135.20 134.99 135.77 135.56	寄付 安値 高値 終値
04/11/25 (木)	東京は週末プラスト・日ということで仲値不足が指摘されるもドル買い続かず。終盤はむしろ小幅円高。米国休場ながら高い活発。ゴールド高を受けたドル売り・ユーロ買いも見られ、再び欧州通貨高の展開。	・10月の貿易黒字1兆1637億円 ・AWSJ「人民銀の周総裁が人民元の交換性を一部緩和する方針」 ・11月IFO景況指数94.1 ・NYゴールドが450ドル突破 ・感謝祭で米国市場休場	・黒田内閣参与「ドルがさらに下がる必要はない」 ・細川官房長官「いまの急激な円高はファンダメンタルズを反映せず」 ・福井日銀総裁「円高はリスク要因、安定性を欠いている」	102.79 102.38 103.02 102.65	135.56 134.99 135.73 135.68	寄付 安値 高値 終値
04/11/26 (金)	東京は行って来い。CBN報道から一時ドル売り優勢となるも、その後は徐々に値を戻す。休日と土日挟まれた米国市場は動意が薄い。中露の外準動向を睨みつつも売買手控えムード。	・チャイナビジネスニュース「中国は外準の米債残高を1800億ドルまで縮小させた」(その後中銀筋から否定コメントが出る)	・谷垣財務相「介入方針は3月から不変、おかしいと思えばタイムリーに取るべき手段を取る」 ・コリッシュェンコ露中銀副総裁「ルーブルの相場管理を目的としたドル買いは来年少す」	102.65 102.15 103.42 102.57	135.68 135.29 136.56 136.37	寄付 安値 高値 終値
04/11/29 (月)	東京は小幅ドル高。ロート発言などもあり、対円でもドルのショートカバーが先行する展開に。欧米は再びドルが弱含み。資金シフト思惑に加えテロ懸念がドル買いの足枷になった。	・北海道釧路沖でM7.1の地震発生 ・アルカイダのNo2がビデオにて「米国との戦いを継続する」	・温中国首相「他国からの圧力に屈してドルバックを変更することはない」 ・ロトスイス中銀総裁「SFが投機圧力にさらされれば政策発動も」 ・トリエ ECB総裁「容赦ない為替の動きは歓迎しない」	102.76 102.49 103.10 102.84	136.37 136.01 136.65 136.55	寄付 安値 高値 終値
04/11/30 (火)	東京は小幅に円安。発表された指標が悪化したうえ、米著名レポートが円売りに寄与していた。欧米は再びユーロ高。ただ終盤に掛けては欧州要人から懸念発言が相次ぎやや調整的な値動きも。	・10月の失業率4.7%、同鉱工業生産1.6%、11月市場介入額はゼロ ・第3四半期米GDP改定値3.9%、11月米消費者信頼感指数90.5、同シカゴ購買部協会指数65.2	・著名米情報社「日本の通貨当局は102円割れで介入する」 ・トリエ ECB総裁「スノー長官の強いドル政策を信じる」 ・スペイン、イタリア首相「次の欧州理事会でユーロ高について議論する」	102.83 102.37 103.09 102.56	136.56 136.33 136.95 136.84	寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>